

平成 24 年度市政懇談会【子育てについて】

<見出し>

※（カッコ）は懇談会開催日です。開催日順に掲載しています。

- 1 通学路の安全確保について（6/26）
- 2 学校の水道水について（6/26）
- 3 保育所の先生について（6/30）
- 4 幼稚園、保育所数の地区ごとの違いについて（6/30）
- 5 保育所の入所手続きについて（6/30）
- 6 子育て支援センターと保育所の継続手続きについて（6/30）
- 7 予防接種の補助について（6/30）
- 8 マル福制度について（6/30）
- 9 保育所の土曜保育について（6/30）
- 10 キッズ館（笠間市児童館）の充実と参加型のイベントの開催について（6/30）
- 11 保健師について（6/30）
- 12 乳幼児検診について（6/30）
- 13 保育所継続手続き時の民生委員の証明について（6/30）
- 14 2歳児3歳児検診について（6/30）
- 15 学校の統廃合について（6/30）
- 16 学校等への監視カメラの設置について（7/5）
- 17 小学校での米づくり体験について（7/5）
- 18 通学路の車両通行規制時間について（7/5）
- 19 学校の統廃合について（7/5）
- 20 夜間の会議の時に子どもを預けられる場所について（7/8）
- 21 病気の子どもを一時的に預けられる場所について（7/8）
- 22 国道 355 号バイパスの押しボタン式信号機設置について（7/8）
- 23 通学路の危険箇所について（7/8）
- 24 みか保育園の裏道について（7/8）
- 25 交通安全教育について（7/8）
- 26 通学路の立哨と警察の協力について（7/8）
- 27 インフルエンザの予防接種について（7/8）
- 28 土師丁字路付近の歩道整備について（7/8）
- 29 PTA 活動と地域ポイント制度について（7/8）
- 30 学校を含んだ防災訓練について（7/8）
- 31 扇風機の設置について（7/8）
- 32 岩間二小の三世代交流事業補助金について（7/8）
- 33 給食センター建替え中の給食について（7/8）
- 34 学力テストの成績公表について（7/8）
- 35 認定子ども園について（7/18）
- 36 園児一人に対する補助金について（7/18）
- 37 笠間市独自の子育て支援について（7/18）
- 38 病児保育、病後児保育について（7/18）
- 39 預かり保育について（7/18）
- 40 放課後児童クラブについて（7/18）
- 41 公立幼稚園の統廃合について（7/18）
- 42 市の新規事業について（7/18）

- 43 総合計画での幼稚園の位置づけと小学校との連携について (7/18)
44 震災時の防災無線の活用について (7/18)

<内容>

1 通学路の安全確保について (6/26)

【意見】 通学路の改善点を受け付ける窓口を一本化してほしい。

適正配置の意見交換をされているが、今後通学路が長くなっても短くなることはないので、早めに安全施設や歩道の設置について取り組みを進めてほしい。

【回答】 昨今、通学時の事故についての報道が多いため、県から依頼されて通学路の調査を行いました。各学校に危険箇所をあげてもらったところ、歩道が無いところや信号が無いところなど約60か所ありました。それをすべて市で行うのではなく、信号だったら警察に、県道は県に、市道は市にという割り振りを行い、とりかかれるところはすでにとりかかりました。ただ、いろいろな課題があり、なかなか解決のできないところもあります。そういったところをどうしていくのか、岩間地区で行ったように通学路を変更することも必要だと思います。

学区の見直しを行っていく中で、学校まで遠くなった子どもたちをどうするのかという問題はまだ解決していませんが、スクールバスの運行なども考えています。

しかし、いくら歩道や信号をつけても結局、運転者の意識等が変わらないといけないと思います。例えば、罰則を強化するなどの対策が必要だと思っています。危険な道路の整備と合わせて、運転者のマナーの向上が必要だと思っています。

2 学校の水道水について (6/26)

【意見】 宍戸小学校の子どもたちは毎日水筒を持っていくが、帰りにはなくなってしまうので、校長先生が「水道の水を入れなさい」と言ったところ、保護者からは「水道の水は危ないので飲んではいけない」と子どもたちは言われているとのことだ。学校に浄水器を設置してほしいという要望がある。

【回答】 水道の水は危ないという保護者の意識を変えてほしいです。原発の事故以後、放射線の検査を行っていますが、地震後、一時は検出されましたが、今は検出されておらず、水道水は安全です。

3 保育所の先生について (6/30)

【意見】 保育所の先生は、正職員と臨時職員の割合はどのように配置しているのか。正職員の年齢が若い方で30代だと思われる、臨時職員の方が若い。20年後30年後、若い正職員がいなくなるとどうになってしまうのか。

【回答】 正職員の保育士は20名、調理員4名、臨時職員は全体で52名です。割合は圧倒的に正職員が少ないです。合併して7年目になりますが、6年間の間に保育士は採用していません。ですから、合併する前から採用していた職員の年齢があがり、退職した職員の補充を臨時の職員で補っているのが現状です。

笠間地区には、3つの公立の保育所と2つの公立の幼稚園があり、友部地区に1つの公立の保育所があります。そのほかは幼稚園も保育所もすべて民間です。笠間地区は一番人口減少が著しいという状況と、保育所の老朽化という問題があります。特にてらざき保育所といなだ保育所の老朽化が著しいです。この保育所の現状と幼稚園とのあり方を審議する幼児施設設置協議会というものがあります。いろいろな分野の方や、幼稚園・保育所の代表者で、今後の幼児施設について審議しています。

例えば国の制度では、消費税を上げた分で認定子ども園を支援するというのが3党で合意された意見です。それに併せ、子供も少なくなっていて、公立幼稚園の定員は半分くらいなのに対

し、保育所は100%に達しています。この現状を考えると、今、笠間地区で3つある公立保育所をそのまま残し、幼稚園も定員割れしたままで残していくことがいいのか。それとも、認定子ども園として、幼稚園と保育所を合併し、幼児施設の数を減らして教育環境を良くしたほうがいいのか、などを議論しています。

幼児施設設置協議会の決定を待って、市の職員である保育士の採用についての方針を出していきます。市としても方針を早く出せば良かったのですが、国でも認定こども園や、総合子ども園などいろいろ変わっていて、なかなか方向性がでなかったのが、今まで来てしまいました。今年中に方向性は決定していこうと思います。

4 幼稚園、保育所数の地区ごとの違いについて (6/30)

【意見】 岩間地区には公立の幼稚園や保育園がない。何か理由があるのか。

【回答】 合併前から、岩間町には公立がありません。これは合併前の行政の考え方の違いであって、保育所や幼稚園は民間で十分賄っていけるという考えで進めてきたので、岩間地区では公立がなかったのだと思われます。友部地区でも公立は1か所ありますが、あとの保育所・幼稚園は民間です。笠間地区は、私立の幼稚園もありますが、公立の方が多いです。それぞれ合併前の行政の考え方の違いです。

5 保育所の入所手続きについて (6/30)

【意見】 保育所入所の手続きについてだが、保護者の方達と話していると、入所の手続き中は労働し、子どもの入所が決定すると働くのをやめてしまう人がいると聞く。市ではそういう現況を把握するよう改善してほしい。

【回答】 親が退職したかどうかは申請主義なので、定期的に調査するなどはありません。例えば抜き打ちで調査するとか、第三者の情報で調査するということはできると思われるかもしないですが、実態として調査しきれないことも事実です。

本来は役所が取り締まるべき規則ではなく、子どもを預ける社会人としての親が守らなければいけないルールです。不正があった時には、もちろん役所は対処します。ルールを守って保育所に入所されている方々に、不信感がでないような保育行政は必要ですので、注意をしていきたいと思っています。

6 子育て支援センターと保育所の継続手続きについて (6/30)

【意見】 子育て支援センターが土日は使えないし、平日も早い時間で終わってしまうので、延長してほしい。また、子どもの年齢が小さいときの保育料が高いうえに、継続手続きの時期が源泉徴収票発行前なので、2回市役所窓口に行く必要があるのを改善してほしい。

【回答】 岩間は市民センターいわまに、笠間はポレポレ内に、友部は友部駅北口の児童館内に子育て支援センターを設置しました。児童館は、年末年始を除いてサービスを提供していますのでご利用ください。子育て支援センターは週3回のサービスですが、利用状況を見て開設曜日を調整していきたいと思っています。

保育料については、笠間市は県内では3・4番目に低いです。他市町村との比較をする機会はないので、実感しにくいかと思いますが、合併2・3年目に保育料を下げました。所得がある方は、それほど変わらないと思いますが、所得が低い方については、かなり保育料が安くなっていると思います。

保育所の継続申請については、1回の来庁で申請できるように検討します。

7 予防接種の補助について (6/30)

【意見】 インフルエンザとおたふくかぜなどの予防接種の補助をお願いしたい。

【回答】 インフルエンザ、おたふくかぜの予防接種費用の補助は難しいです。インフルエンザの予防接種補助については要望もありますし、確かに笠間市周辺の自治体では補助している自治体も多いです。

笠間市としては、ヒブや子宮頸がんワクチンの補助をしていくこととなりました。インフルエンザについてもいろいろ議論したのですが、1回の接種料金が高いものについて、補助をしていこうということになりました。今後についても、即答できません。子育て支援は、出会いから結婚、出産、子育て、教育まで一連した支援が必要ですが、国の制度で充実されているものと、笠間市独自でやっているものいろいろあります。今後どこに支援をしたら、子育てをしている方々にとって負担が軽減されていくのかということを考えて進めていきたいと思えます。

8 マル福制度について (6/30)

【意見】 マル福制度を中学まで延長することは考えているか。

【回答】 マル福制度を中学まで延長することは考えていません。

マル福はそれぞれの市町村の独自の施策なので、各市町村で若干違うところがあります。笠間市は他の市町村と比べると充実されています。入院、外来などの項目がありますが、全部実施しているのは笠間市と東海村です。相対的にマル福は充実していこうという方針でいます。

9 保育所の土曜保育について (6/30)

【意見】 土曜保育を現在の午後1時まで（半日）から1日にしてほしい。ボランティアなどを利用することも考えられるがどうか。

【回答】 確かに土曜保育については要望があり、検討したことがあります。ただ、延長するとなると複数の保育所を開設しなければならないので、保育所との協議が必要です。今後、検討します。ただ、ボランティアを利用して、大事なお子さんをあずかることはお子さんの安心・安全を考慮するとできないのが現状です。

10 キッズ館（笠間市児童館）の充実と参加型のイベントの開催について (6/30)

【意見】 キッズ館を利用したが、子どもがすぐに飽きてしまった。ピアノや風呂敷きなど想像をくすぐるようなものを置いたり、泥遊びや木登りなどができるようにしたりするなど充実させてほしい。例えば水戸市では、高齢の方がデイサービスなどで作成した手づくりおもちゃがいっぱいある児童施設がある。また、個人的にバレンタインデーにお菓子の家作りと夏には流しそうめんを行っている。市で参加型の楽しいイベントを開催してほしい。

【回答】 キッズ館は指定管理者にお願いしていますが、開館して3か月経ったので、アンケートや要望などを取りまとめました。ハード的なものはすぐには難しいですが、ソフト的なものはイベントを含めて、よりよい運営ができるようにしていきたいと思えます。皆さんからもいろいろご意見・ご提案を現場に伝えてください。

11 保健師について (6/30)

【意見】 検診のときなどに、経験が豊富な保健師の方は、その自信からか上から目線で意見を言われる。こちらの考え方を受け入れた上でアドバイスをしたい。

【回答】 そういう意見があったことは担当から伝えます。よく指導します。

12 乳幼児検診について (6/30)

【意見】 乳幼児の検診が午後1時からなので、ちょうど子どもたちの昼寝の時間にあたりぐずってしまう。検診を午前中にしてほしい。

【回答】 検討させていただきます。

13 保育所継続手続き時の民生委員の証明について (6/30)

【意見】自営業をしているので、保育所の継続申請の時に、民生委員の証明が必要になるが、会ったこともない民生委員に証明をもらうのは、気が進まない。確定申告書類などでは、仕事をしているという証明にならないのか。

【回答】会社に勤めている方は、会社の勤務証明書を提出していただきますが、自営業の方は自分で証明するわけにはいきません。民生委員には客観的な立場で調査をし、証明していただくことになっています。確定申告書類については、前年度の所得証明になりますが、今後とも民生委員に勤務状況を証明していただくことになります。手続き上、ご面倒かもしれませんが、民生委員は虐待などいろいろな地域の役割を担っていますので、この機会に民生委員と接点をもっておくことは、良いことだと思います。

14 2歳児3歳児検診について (6/30)

【意見】保健センターから2歳児3歳児検診のお知らせが来るが、日程が平日の一日に指定されているので仕事をしていると連れて行くのが難しい。平日以外にしてほしい。

保育所では、歯科検診や内科検診を行っているのですが、検診に行く必要があるのか。また、市役所では、子どもがどこの保育所に通っているという情報は把握していると思うので、案内の通知なども保育所を通すなどして、経費を節減してはどうか。

【回答】検診の案内などは、保育所を通すなどの方法も検討したいと思います。2歳児3歳児の検診につきましては、成長過程の検診ですので、保育所や幼稚園でできるのかという疑問があります。親からみて、成長に心配なことがあれば検診で相談される場合もあると思います。検診の曜日、時間帯、情報伝達も含めていろいろな角度から検討していきます。

15 学校の統廃合について (6/30)

【意見】幼保一体化はすごくいいと思う。子どもが小さいうちは、パートタイマーなど短い時間で働きたいが、保育所に入るには、就労証明書が必要で、月曜日から金曜日の朝から晩まで働かないと審査が通らないという現状なので、幼保一体化を進めてほしい。

現在は学校数と児童の数があっていない。中学校になると部活もあるので、もう少し学校数を減らし、子どもたちがいろいろな子と関わり、部活もたくさんの中から選べるようにしてほしい。

【回答】幼保一体化については、今年度中に方向性を出していきたいと思います。ただ、方針を出してすぐ来年に実施というわけではありません。

小中学校適正配置の検討委員会を立ち上げ、答申をいただき、教育委員会が各地区の小中学校単位で説明会を行っています。特に小中学校の統合が必要なのは、笠間地区で小学校6校、中学校4校ありますので、統合は避けては通れないと思います。小学校区14地区で説明会を開き、意見を聞いて、最終的にどこどこを何年に合併させるという方針を出します。

検討委員会では、一学年10人以下という学校もありますので、どのくらい的人数が適正なのかということについての議論から始めました。その結果、競争が働いたり、クラス替えができたり、部活が選択できたりということで、小学校は一学年2～3学級、中学校は3学級以上が適正だろうという結論になりました。統廃合について説明をするといろいろな意見があり、小さな学校がなぜ悪いのか、なぜその学校に集約するのかなどいろいろあります。皆さんからの意見には耳を傾けますが、統廃合は進めていくという考え方です。

16 学校等への監視カメラの設置について (7/5)

【意見】守谷市で脅迫文が送付される事件があったときに小中高にミニパトを配置し、私立の幼稚園には監視カメラを設置した。笠間市でも、学校、PTA、警察署を交えた監視体制が必要だと思

う。

【回答】現在、監視カメラについては、福原駅と稲田駅以外の駅と学校に設置しています。今、設置しているものだけで、市民生活の安全をカバーできるかというところは難しいですが、監視カメラの役割が非常に高まってきていますので、本当に必要な場所には設置が必要だと思っています。

17 小学校での米づくり体験について (7/5)

【意見】宍戸小学校では、三世代交流で田植えからもちを作って食べるという有意義な活動をしている。米を作るなどの取り組みは他の学校でも行っているのか。

【回答】全部の小学校で米を作るなどの収穫祭を行っています。三世代交流など行っているのはよいことだと思います。

18 通学路の車両通行規制時間について (7/5)

【意見】防犯連絡員は、通学路などのパトロール、交通整理、立哨を行っているが、朝の7時15分から45分までが通学時間で車両通行規制時間となっている。しかし、その通学時間を過ぎて通学する子どもがいたので、学校に連絡をしたら、地区の代表が呼ばれ、子どもたちと一緒に歩いたとのこと。ボランティアで安全のために連絡したのに学校の考え方はどうなのか。

【回答】この箇所は通学路の危険箇所点検の中で、学校から車両規制時間と通学時間の相違ということで上がっています。学校からも規制時間の変更ということで要望が出ていますので、市でも改めて点検調査し、対応したいと思います。

19 学校の統廃合について (7/5)

【意見】池野辺に住んでいるが、学校が統合されると聞いた。子どもの具合が悪くなって迎えにきてほしいというときは、どうしたらいいのか。また、大原小学校に近い地区なので、大原小学校に行きたいというときは、送迎バスなど出してもらえるのか。

【回答】現在、学区の見直しということで審議会から答申をいただき、それに基づき小学校単位で説明会を行っています。今、示しているのは、一つの案で、各地区の意見を聞いてから教育委員会できりまとめる予定です。そして、とりまとめたものを再度説明しようと思っています。その中ではいろいろな課題が出てきていて、特に足の確保という課題が出ています。送迎のバスを出すことになるとは思います。遠くなったときの迎えについては、即答できませんが、課題として話をしておきます。

大原小学校に行く場合についても即答はできません。それぞれの地区で見直しを行ったので、池野辺は大原小学校に近い子どもがいるのは事実ですが、考え方としては、笠間小学校にいていただくということになっています。例外的に認めるかどうかということは、教育委員会に話をしておきます。

20 夜間の会議の時に子どもを預けられる場所について (7/8)

【意見】運営委員会など、夜の会合がある場合に、子どもを預かってもらえる市の施設はあるのか。民間では料金が高いので補助などを検討して欲しい。

【回答】子どもを何らかの用事の時に預けたいというニーズがあることは了解しました。市にはファミリーサポートセンターという制度があります。子どもを預けたい方と子どもを預かれる方にそれぞれ登録していただいて、個々にご案内しています。1時間700円で小学6年生までが対象です。民間の預かり施設については、市で把握しておりませんでしたので、現状の情報収集をしていきます。

21 病気の子どもを一時的に預けられる場所について (7/8)

【意見】病気の子どもを預けられるところはあるのか。インフルエンザの場合などに、一時預かりをしてくれるところがあれば、共働き家庭は助かると思う。

【回答】ファミリーサポートセンターでは、預かる側と預ける側の契約によります。感染性の病気の場合は難しいです。以前は県で行っていましたが、看護師や医師、施設の確保が必要になります。全国的には事例があるようですが、笠間ではそこまで至っていませんので、検討していきます。

22 国道 355 号バイパスの押しボタン式信号機設置について (7/8)

【意見】福島地区は国道 355 号バイパスが開通し、快適になったが、通学班が分断され、1,2 年生と 5,6 年生が分かれてしまった。横断歩道はあるが信号機がないので、押しボタン式の信号を設置してほしい。

【回答】国道 355 バイパス信号設置については、地元の区長から要望がでており、平成 22 年度から警察にお願いをしています。市では引き続きお願いをしていきます。警察は交通台数、歩行者数などで優先順位をつけているようです。

23 通学路の危険箇所について (7/8)

【意見】通学路などの危険箇所についての対応はどのような対応をしているのか。

【回答】危険箇所について緊急調査をしたところ、市内の危険箇所は全体で約 60 か所で、この内市道 30 か所、あとは県道や信号機などです。それぞれ県道は県に、信号機などは警察に要望していきます。市道については今回の調査の前から対応しているところもありますので、併せて改修を進めていきます。

また、報道によると運転者も無謀な運転をしている場合があるようなので、危険運転の取り締まり強化も必要だと思います。

24 みか保育園の裏道について (7/8)

【意見】みか保育園の裏道はスクールゾーンとして指定することはできないのか。

【回答】地区に住んでいる方にも影響があるので地元での意見の統一が必要です。今回調査した危険箇所約 60 か所の中に入っているかどうか確認の上、調査していきます。

25 交通安全教育について (7/8)

【意見】つくば市では、中学校の生徒を対象にスタントマンを使った交通安全教育の学習をしたと新聞にあった。最近、ウォークマンや携帯などイヤホンをしている子ども達が増えたので危険を目の前で見せる学習も必要ではないか。

【回答】笠間市内の学校では、小学 4 年生がひたちなかの交通公園で研修を行っています。スタントマンではありませんが、人形がはねられる実験などを見学しています。また、交通安全教室を年 1 回実施しています。交通教育は大切だと思っています。

26 通学路の立哨と警察の協力について (7/8)

【意見】石井地区では、父兄の立哨をやっているが、佐白交番の警察官にも来てもらっている。国道 355 バイパスのところも警察にお願いしてはどうか。

【回答】佐白交番は 200m 程度のところなので、来てもらっていますが、国道 355 バイパスのところは、岩間交番から遠い場所なので協力いただけるかどうかはわかりません。岩間地区の父兄も立哨に立っていただいています。それに関わらず、信号が必要との要望が多いので、警察に要望していきます。

27 インフルエンザの予防接種について (7/8)

【意見】 インフルエンザ予防接種の助成金についての市の考えを聞きたい。

【回答】 現在、笠間市では助成していませんが、近隣の市町村では助成しているところもあります。子育て支援については、どこに視点をあてるかが自治体ごとに違ってきます。笠間市はマル福については他自治体よりも充実しています。インフルエンザの予防接種の助成についてはご意見として承ります。

28 土師丁字路付近の歩道整備について (7/8)

【意見】 土師のセブンイレブンから土師丁字路までに片側は歩道整備をされたが、片側は歩道がなく危険である。中学生が歩道を通れるように整備してほしい。

【回答】 理想は両側に歩道があることですが、現実には難しいです。法改正により、歩道を自転車を通ることは違反になりましたが、警察は歩行者数の少なさを加味し、歩道の自転車通行についての取り締まりはしないとのこと。

29 PTA 活動と地域ポイント制度について (7/8)

【意見】 地域ポイント制度に、PTA 役員の活動は対象にならないのか。

【回答】 地域ポイント制度は、マラソン大会やお祭りなど各イベントなどを手伝っていただいた方に1回1ポイントを与えて、ポイントを積み重ねれば、景品や施設の利用券と交換するといった、社会実験中の事業です。目的は、若い方のボランティア促進や、定年退職した方の社会貢献を支援するためです。将来的には地域活動を対象にするようにしたいと考えています。PTA 活動は対象事業の性格とは異なると思われます。

30 学校を含んだ防災訓練について (7/8)

【意見】 学校に防災の備蓄品があり、有効期限、賞味期限があるが、その前にそれを利用した防災訓練をする予定は考えているか。

【回答】 新しい防災計画の中で、地域、学校を含めた訓練を考えています。現在、学校では年1回防災訓練を行っていますが、これからは地域と一緒にいき、期限間近のものがあれば食品を実際に使い、訓練していきたいと思えます。

31 扇風機の設置について (7/8)

【意見】 他校では PTA 会費で扇風機を設置しているところもあるが、岩間二小は規模が小さいので難しい。市で設置する予定はあるのか。

【回答】 扇風機設置については、即答できません。一気に全ての学校に設置することはできないので、低学年からつけるとか、学校を絞るとかになると思えます。

エアコンの設置についての要望もありますが、各学校で現況を調査しています。今年度予算化することはありません。

32 岩間二小の三世代交流事業補助金について (7/8)

【意見】 岩間二小で行っている三世代交流事業の補助金下がった。今後も下がっていくのか。

【回答】 補助金については全体的に見直しをしています。三世代交流を否定しているわけではないですが、お金をかけずにできる方法を検討するなどの意向がありました。市が支出する補助金は、時代によって新しい対象事業が出てくることはありますが、現在、支出している補助金が増えることは少ないです。減額する際には、きちんと説明をしていますので、お問い合わせください。

33 給食センター建替え中の給食について (7/8)

【意見】給食センターの建替えで給食が休止すると、親の負担が増えるので、民間利用などして、給食の提供が止まらないようにできないか。

【回答】敷地が広ければ、使いながら建替えをすることも可能ですが、事前に解体をしなければならぬので1~3月は物理的に無理です。民間委託については、長期的なら委託することも考えられますが、3か月分の50回×2,400食では期間も短いので外部委託自体が難しいです。

34 学力テストの成績公表について (7/8)

【意見】学力の問題について、他市町村や学校ごとに比較した成績やデータがわからないので教えてほしい。

【回答】平成22年度から学力テストが始まり、笠間市もホームページで公表しています。学校ごとの比較はしていませんが、前は、主要5科目で平均より下だったのは1教科だけでした。

35 認定子ども園について (7/18)

【意見1】認定子ども園の設立について、市はどのように考えているのか。

【回答1】国では、3党含めて認定子ども園を拡充していくという方向は決まったのですが、中身は決まっていないという状況です。市の考え方もまだしっかりとした形でまとまっていません。ただ、現状として公立の幼稚園が2つ、保育所が4つあります。先日、幼児施設の審議会が開催され、答申がまとまりました。答申の中では、笠間幼稚園と稲田幼稚園を一つにまとめ、保育所についてははらぎ保育所が老朽化しているので修復をし、いなだ保育所とくるす保育所は現状維持というような内容でした。それを踏まえて市では内部の手続き、会議を経て最終的に公立の幼稚園と保育所の統廃合を整理していきます。今年度中にまとめたいと思っていますが、市として、新規の幼稚園や保育所の設立は考えていません。

【意見2】県から、認定子ども園は市の認定が受けられればよいと聞いているがそうなのか。

【回答2】今の時点では、幼稚園から認定子ども園の申請ができれば、審議会を経て決定されていくとは思いますが。しかし、幼稚園と保育所の監督官庁が違うままなので、制度が複雑になると思われる。

【意見3】低年齢児の保育には、設備や給食などのお金がかかってしまう。行政から支援はないのか。

【回答3】仮に認定子ども園と認めた施設があったとしても、その園にハード面等で市などが支援することは、考えていません。設備の投資は、園でやっていただきたいと思えます。

36 園児一人に対する補助金について (7/18)

【意見】公立の幼稚園、保育園の園児一人に対して補助金等どれだけのお金を使っているのか精査し、検証してほしい。

【回答】幼稚園と保育所それぞれの一人当たりの経費を出してみます。保育料は国の基準があり、8段階にわけた収入によって保育料が決まっていますが、市では更に保育料の助成を上乗せしていますので、保育料に関しては、県内で3番目くらいに低い状態です。幼稚園については、国の基準に基づき算出しています。一人当たりの金額については、保育所の方が高いと思えます。幼稚園の園児一人当たり1,000円助成しています。自治体によって違って、園児に支援しているところや、幼稚園に支援しているところもあり、自治体によっては両方支援しているところやまた支援のないところもあります。それぞれの自治体の考え方だと思えます。

37 笠間市独自の子育て支援について (7/18)

【意見】笠間市独自の子育て支援をしてほしい。

【回答】笠間市においても子育て支援は大きな課題となっていますが、湯水のようにお金を使う余裕はありませんので、何に支援をしたら一番効果があるのかです。今までいろいろと支援をしてきましたが、あまり効果的ではなかったと思われるものもあります。そういったものは廃止して、別のところに使いたいのですが、廃止しないでほしいといった意見もあります。保育所の保護者からは、土曜の午後まで保育してほしいとかインフルエンザの予防注射に助成金を出してほしいなどの意見が出ました。そういう意見を聞き、あれもこれもはできませんが、子育て支援をしていくのに何にどうバックアップしていけばよいのか、皆さんの意見の中から判断していきたいと思っています。

38 病児保育、病後児保育について (7/18)

【意見】働くお母さんが多くなっている中で、子どもが感染症にかかっても仕事の都合で休みがとれないというケースが多くなっている。幼稚園では、看護師もいないので病児保育、病後児保育ができないので、市立病院の中などに安心して預けられるようなセンターを市でつくってもらえないか。

【回答】市立病院での病後児保育については、いろいろな方から意見をいただき、必要性については認識しているので、考えていきたいと思っています。

39 預かり保育について (7/18)

【意見】預かり保育のニーズが増えているが、市からの補助はまったくない。親御さんからの要望は多いので平日は7時まで、土曜日は5時まで、夏休みとお盆期間も預かり保育をしているが、他の保育所と比べて預かる時間に差はないが、あまり保育料金は高くできないので、幼稚園が負担している。

【回答】預かり保育は、保護者からの料金でまかなえず、幼稚園経営の中でやりくりをしているということですね。行政として運営費を一律支援するというよりは、通常の保育以外に自主的、先駆的に取り組んでいる場合には支援していきます。

40 放課後児童クラブについて (7/18)

【意見】ドレミ幼稚園では、市の学童よりも安いので卒園生に限って、岩間第三小学校の児童も預かっているが、補助の対象にはならないのか。

【回答】放課後児童クラブは、学校によっていろいろ違っています。小学6年生まで預かる場所もありますが、目安は小学3年生としています。現在は、当初の放課後児童クラブの目的と実態が違ってきているところがあります。放課後児童クラブの料金について確認します。

41 公立幼稚園の統廃合について (7/18)

【意見】公立の幼稚園の統廃合について聞きたい。

【回答】震災を含めた施設の老朽化や幼稚園の大幅な定員割れがあり、今後の幼稚園、保育所を含めた幼児施設のあり方についての審議をしていただき、答申をいただきました。答申の中では、稲田幼稚園と笠間幼稚園の一本化とてらぎ保育所の建て替えと民営化の検討という内容でした。その答申に基づき行政で議論をし、今年度中に方針を出していきたいと思っています。市として、新規の幼稚園や保育所は考えていません。

42 市の新規事業について (7/18)

【意見】児童館、岩間支所のくりのこなどの事業について、設置前に幼稚園に投げかけてもらえ

ば、いろいろと広がりをもてたのではないかと思う。市で新規事業を行う前に相談してほしい。民間委託をするのであれば、施設を建てる前にまずは投げかけてほしい。

【回答】 公設民営と最初から民営化した場合と二通りあります。幼稚園の場合は、今の法律では最初から民営とすることができません。例えば、笠間幼稚園と稲田幼稚園を廃止し、民間に公募して変わるものをつくることはできます。そういったことも課題となっていて、国でも議論しているところです。幼児の教育において幼稚園の方々にお問い合わせできることがあれば、最初の段階でお話したいと思います。

43 総合計画での幼稚園の位置づけと小学校との連携について（7/18）

【意見】 平成 24 年～平成 28 年の市の総合計画の教育の文中に、「小学校、幼稚園、保育園の連携」という一文が載っているが、具体的に何を行うのか。例えば、新 1 年生の先生との話し合いを行う際に、学校に来てほしいというところもあれば、幼稚園に伺いますというところもある。学校の対応の仕方を統一してほしい。

【回答】 総合計画の小学校、幼稚園、保育所の連携については、幼稚園から小学校への切り替え時期の連携が必要だという時代となってきましたので、意見交換や行事での連携なども含めた考え方です。

市では学校に指導することと、学校の独自性にまかせるものと二通りあり、意見交換を幼稚園とするのか、学校とするのかは、学校現場で独自に考えていただくところだと思いますので、学校長に直接お伝えいただき、臨機応変にやっていただければと思います。

44 震災時の防災無線の活用について（7/18）

【意見】 震災のときに情報を保護者に伝えることが苦勞した。いつから預かり保育を行うといった情報を連絡のとれた友部の 3 つの幼稚園だけでも、防災無線で流してもらえないかをお願いしたが、対応してもらえなかった。緊急時は、公立私立問わず対応してほしい。

【回答】 震災時は、混乱していたのでご要望に添えないところがあったと思いますが、防災無線は情報がすみずみまで伝わるというものではありませんので、放送すればするほど問い合わせの電話があり、電話回線がパンクしてしまうということがありました。防災無線は必要最小限の内容にと、制限するようにしました。今後は、防災無線もデジタル化に向けて段階的に進めていきますので、今回の反省を踏まえて対応していきたいと思います。